れ、起源ないし出現の背景・生成過程など發生論・段階論的な視點・分析が看過されてきたことに起因しているものと考えられる。そこで、本發表では都督制度の起源と生成過程の追求に考察の焦點を合わせて如上の問題點に迫り、できれば六朝時代における政治權力と軍事制度の關係、地方統治の在り方についても言及したいと思う。

唐の太上皇について

岡野　誠

中國社會の歴史的特質を理解するうえで、皇帝制の解明が、最重要課題の一つであることは言うまでもない。

皇帝權は、たてまえとして、至高無上のものと稱されるが、現實的には、貴族（官僚）・外戚・宦官等の諸勢力によって、しばしば掣肘侵害されたことは、よく知られたことである。

ただ、たてまえと現實という二元論を適用する前に、皇帝權そのものの在り方を、より具體的に考えてみることが必要である。その一方法として、本報告では、唐代の太上皇の在り方に焦點をあて、太上皇と皇帝という問題に限定して、若干の私見を述べたいと思う。もちろん、その前史として、秦漢以來の太上皇についても簡單にふれる。

唐代では、高祖・睿宗・玄宗・順宗の四人が太上皇となっている。この四例のうち、報告者が最も興味を抱くのは、玄宗の事例である。

周知のごとく、肅宗の靈武における即位は、安祿山の亂のため、玄宗が蜀へ逃避する時期と重なっている。玄宗から皇太子（のちの肅宗）への傳位の事實、即位に關する詔・册文資料にはいくつかの矛盾がある。これらを解明することによって、肅宗即位後の政治的事件（例えば永王璘の亂）もより一層理解できるのではないだろうか。

漢代更卒制度の再檢討
――服虔-濱口説批判――

渡邊信一郎

漢代の地方的徭役たる更卒制度については、その就役樣式・就役期間・就役義務年限・更賦との關係など、多くの論點について樣ざまな理解が提示されている。その中にあって、如淳説の批判的檢討を通じて服虔説を支持した濱口重國氏の所説が廣く受け入れられており、今日の通説をなしている。服虔-濱口説によれば、漢代更卒制度は、兵役就役者以外の成年男子（二三歳～五六歳）が負擔する一年一箇月宛の地方的徭役であり、これに自ら就役する場合を踐更、免役錢三百錢を納入して免番するのを過更とするものであった。

踐更・過更を含む就役樣式についての服虔-濱口説は、單純明快であるため正鵠を射ているかのごとくである。しかし問題は、いま

少し複雑である。服虔-濱口説は、『論衡』射短篇・漢律佚文などに見える「居更」を無視して立論したものであり、事實を單純化しすぎているのである。更卒の就役様式については、踐更・過更・居更およびその根幹にある更を含めた全體的理解が示されなければならない。

本報告は、更卒制度の中核をなす就役様式について再検討を加え、更卒制度全體の見直し作業の手掛かりを得ようとするものである。

『キターブ・バフリエ』ヒジュラ暦九二七年本系寫本

新谷英治

一六世紀初頭にオスマン朝の海軍指揮官の一人ピーリー・ライースによって成立した地中海航海案内書『キターブ・バフリエ』の寫本には二種の系統がある。ヒジュラ暦九二七（西暦一五二一）年成立とされる原本に基づく寫本と、同じく九三二（一五二六）年完成の原本に基づく寫本であり、それぞれ二三寫本、九寫本が知られる。報告者は先に九三二年本系のスレイマニイェ圖書館所藏アヤソフィア二六一二番寫本本文の分析を試みたが、これ以外の九三二年本系諸寫本及び九二七年本系諸寫本の検討は、Paul Kahle, Svat Soucek らの研究はあるものの十分には行われていない。

今般九二七年本系寫本八點の寫しを入手できた。これらの寫本の形態はけっして一様ではなく、しばしば章の配列（敍述の流れ）の亂れ、脱落などが起こっており、また全體の三分の一程度が九三二年本系の内容である寫本も存在する。知られている最古の寫本である東ドイツ國立圖書館所藏 Eb 三八九番寫本は不完全であり、やや時代は下るもののトプカプ宮殿博物館所藏バグダード三三七番寫本がより本來の姿に近い。

このバグダード三三七番寫本を中心にしつつ九二七年本系寫本の構成、内容を検討すると、敍述の流れは概ねアヤソフィア二六一二番寫本と同様でありながら、西地中海北岸區域ではアヤソフィア二六一二番寫本と異なり敍述の逆行現象が起こっていないこと、またオスマン朝領外の港や停泊地の説明でオスマン朝艦隊の派遣を意識した表現が見られることなど、いくつかの注目すべき事柄が知られる。検討對象の寫本は僅かに八寫本であるが、それらの相互の比較検討及びアヤソフィア二六一二番寫本との比較によって得られた知見は、『キターブ・バフリエ』の全體像解明の手掛かりとなろう。

マスウーディーの『黄金の牧場』第三～六章をめぐって

竹田新

『黄金の牧場と寶石の鑛山』は、イスラーム圏の旅行に多年を過ごした一二イマーム派のアディーブ（adib, 文人）マスウーディー